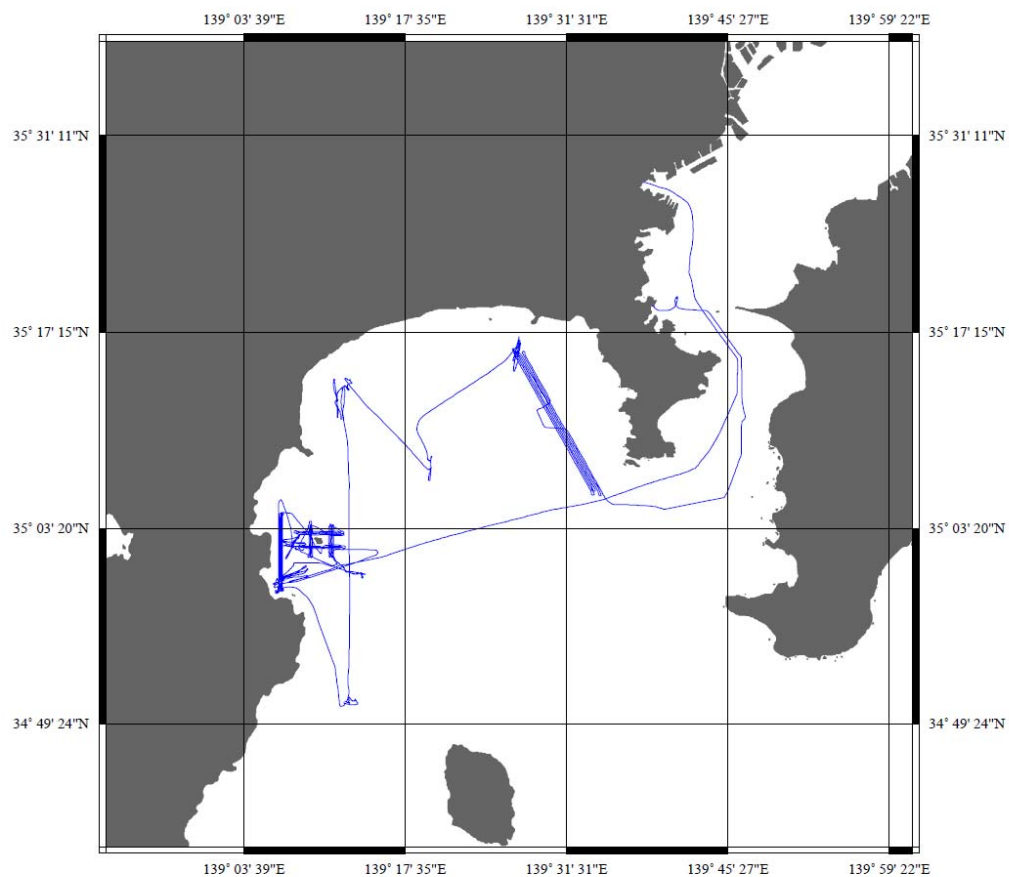


NT08-21 KO-OHO-O cruise Summary

1. 航海情報

- (1) 航海番号 : NT08-21 LEG1, LEG2
- (2) 船舶名 : R/V NATSUSHIMA
- (3) 航海名 : ハイパードルフィン調査潜航
- (4) 首席研究者 : 藤岡 換太郎 (JAMSTEC)
- (5) 課題代表研究者 : 田代 省三 (JAMSTEC)
- (6) 研究課題名 : 広報用撮影潜航(普及啓発、エンターテイメント)
- (7) 航海期間 : 2008/09/25 - 2008/10/01
- (8) 出入港地 : 横浜港 - JAMSTEC
- (9) 調査海域 : 相模湾 初島沖、門脇海丘周辺海域、小田原沖、相模海丘、佐島沖
- (10) 航跡図

NT08-21 TRACK MAP IN R/V NATSUSHIMA



2. 実施内容

広報用映像素材および展示用サンプルの採取を目的として本航海（K0-OH0-0; Key Observation and Outreaching of Hidden Ocean and Organisms）を行った。近隣博物館、水族館職員の乗船により、機構業務の理解促進とより一層の連携強化をも図った。

成果

(1) 地形調査

初島周辺と三浦半島西部の浅部の調査を行った結果わずかな部分を除いて欠損なくカバーすることができた。

(2) 潜航調査

①HPD #904 初島地質生物トラバース

- ・初島沖深海底総合観測のステーションの現状の観察と撮影を行った。
- ・ステーション南部の地域と海底谷で新たなシロウリガイコロニーが見つかった
- ・玄武岩の露頭が見つかった。
- ・海底谷に地すべりの跡が見つかった。

②HPD #905 熱川沖長大溶岩流のトラバース、特に浅部での観察

- ・溶岩には大きく見て3つのユニットのあることがわかった
- ・溶岩の形態に関して4つのバリエーションが観察され映像が撮られた

③ #906 小田原沖

・新しい堆積物の多いことがわかった。それと付随してごみがたくさん見つかった。これは今年の台風による水害と関係あるかもしれない

④HPD #907 相模海丘

- ・中層（300m）の生物を昼間と夜に観察した。昼夜の違いは顕著ではなかったが、クラゲやサルバなどが観察された。
- ・海丘では新しい斜面崩壊の跡が見られた。
- ・斜面の下流部でシロウリガイの殻を1個採取した。
- ・玄武岩からなる厚さ1mにも及ぶ礫層を発見した。
- ・垂直に切り立った、もしくはオーバーハングする泥岩の谷地形が見つかった。

この航海では岩石20個、柱状堆積物8本と生物固体46個が採集された。これらのものは今後の広報活動、展示などに使用される。